

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	平成30年度第2回特別職報酬等審議会
2 開催日時	平成30年12月17日(月) 午後3時から
3 開催場所	市役所本庁3階 301会議室
4 会議の概要	<p>1. 河内長野市特別職の報酬等について</p> <p>第1回会議で出された建議の方向性に基づき、事務局から建議書案を当日配付し、その建議書案の内容について加筆・修正などを行い、最終の建議書に取り纏めていただいた。</p>
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	なし
7 問い合わせ先	(担当課名) 総合政策部 人事課 給与厚生係 (内線 317)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

平成30年度特別職報酬等審議会（概要）

第1回会議

日 時：平成30年11月28日（水）午前9時30分から午前11時30分まで

場 所：301会議室

出席者：委員 9人（全10名中 1名欠席）

事務局 7人（市長 小林部長 宮阪課長 和田課長補佐 新井主幹 西川係長
阪井主査）

第2回会議

日 時：平成30年12月17日（月）午後3時10分から午後3時50分まで

場 所：301会議室

出席者：委員 9人（全10名中 1名欠席）

事務局 7人（小林部長 宮阪課長 和田課長補佐 新井主幹 西川係長
阪井主査）

●会議の内容

第1回会議では、事務局から「平成30年度特別職報酬等審議会資料」により市の財政状況、職員数、人件費の状況、各市の特別職の給料及び議員報酬の改定状況、全国の平均給料月額等を説明の上、審議を行っていただき、第2回会議に向け、建議する内容の方向性までを審議していただいた。また、委員から貝塚市の議員報酬が改正されたことに関し、その経緯について知りたいとの依頼があり、状況を調査することとなった。

第2回会議では、貝塚市の議員報酬の改正の経緯の状況を報告した。また、第1回会議で出された建議の方向性に基づき、事務局からたたき台として建議書案を当日配付し、その建議書案の内容について加筆・修正などを行い、最終の建議書に取り纏めていただいた。

●各委員からの主な質疑、意見

1. 特別職給料及び議員報酬について

（1）特別職給料

- ・財政状況が改善していないので、現在の減額措置を継続してもらいたい。
- ・教育長の退職手当について、審議会の建議書の内容を聞いてもらった。

（2）議員報酬

- ・議員報酬については、もらっている分だけ頑張ってもらいたい。市民の目を厳しくしていきたい。
- ・河内長野市は人口10～20万人の府内12市のうち、下から3番目の人口である。この区分の中では全国では高く、府内では低いということになるが、仮に5～10万人の区分での平均と比較すると府内でも高いということになる。
- ・河内長野市も多いと思うので減らしてはどうかと思うが、人口比率に比べると適切なのかなとも思う。

- ・検討された内容を書面で回答いただきたい。
- ・平成26年以降は同じ額。建議書を出しても動いていない。
- ・10%カットした場合、府内でずいぶん下になってしまう。10%に至らずとも、順位を特別職とならずくらいでどうか。人口や財政状況の検討は必要であるが、若干「中位」ということにこだわりがあるように思う。

●審議結果のまとめ

1. 特別職給料について

今回の審議会においては、特別職の給料については現在の減額措置を継続されるよう、建議することで一致した。

2. 議員報酬について

議員報酬については、市の財政状況に改善の兆しが見えず、今後もより厳しい状況が予想される中、府内順位が依然として中位にあることから、昨年度の建議内容の「10%」という数字にこだわらず、自主的な減額を強くお願いすること、また、議会で検討された内容を書面で報告をお願いするという内容で建議することで一致した。